

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ABA発達支援教室 みらいkids&Sports		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・DCD（発達性協調運動症）に特化した支援をしており、個別の困り感に合わせた運動プログラムを提供できる。	・個別の困り感にあったプログラムの提供のために、お子様の苦手意識が何から生じているのか、保護者様から日々変化していくニーズの確認などを行っている。	・DCD（発達性協調運動症）に特化した、オーダーメイドの支援ができるように、スタッフ間の研修、研鑽をしていく。
2	・様々な運動器具を用意しており、多彩なプログラムの提供ができる。	・課題をスモールステップに段階分けをし、成功体験をたくさん経験できるようにし、自己肯定感を高められるようにしている。	・「できた」という喜びが、次への意欲につながっていくように支援し、体を動かすことが楽しいと思えるようにしていきます。 ・運動器具の定期点検を行い、子どもが安心して利用できるように環境を整える。
3	・運動プログラムでの集団活動で団体戦をすることで、楽しく協調性をはぐくむことができる。	・ゲーム形式で運動を行うことで、ルールを守ったり、協力したりすることを学べるような環境を作っている。自ら発言したり、お友だちと話し合う場面も作ったりしている。	・自分の意見を尊重してもらったり、相手の考えを尊重したりして、適切なコミュニケーションの取り方も学んでいけるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・出入口が一つしかない。	・災害が起きた時に、出入口の確保が必須であると考えている。	・災害ごとの避難訓練の実施や、防犯対策の訓練など定期的に行う。
2	・感染症対策としての換気がしづらい。	・窓が少ないため。	・空気清浄機を二台常設し、常時喚起している。
3	・集団での動きの激しい活動では部屋の広さが充分ではない。	・小学校高学年になると、走る、ボールを投げる、などの活動時は、多少の力加減が必要になってくることもある。	・使用しない運動器具は片付け、荷物は整理整頓し、できるだけ活動スペースを確保できるようにする。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ABA発達支援教室 みらいkids & Sports
------	----------------------------

公表日 2026年2月10日

利用児童数 2025年11月1日現在 21人

回収数 14

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	0	0		使用しない器具はできるだけ収容し、活動スペースを少しでも広くできるように工夫をしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	0	とても手厚いです。	今後も充分な職員を配置していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	0	0	0		バリアフリーには対応していないので、必要に応じて対策をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	0	0		今後も心地よく過ごせる空間を作っていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	0		専門性のある支援ができるように、今後も研鑽に励んでいます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	0		年間計画、月間計画の基づいたプログラムを提供していきます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0		今後もアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された個別支援計画を作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	0		支援項目を明記し、具体的にわかりやすい内容にしています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0		スタッフ間で個別支援計画を共有し、個別支援計画に沿った支援をしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	0		新たな運動機器を導入して多彩なプログラムを用意できるようにしています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	3	9		機会があれば検討していきます。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0		今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0		こどもと保護者のニーズに合っているか確認しながら説明をしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	0	0	0		家族支援プログラムを今後も実施し、手紙やSNSでお伝えしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	0	0	0	毎回引き渡しの際に活動の様子を教えていただき、すごく丁寧だと思う。	保護者様とのコミュニケーションを密に取り、共通理解をしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	0	0		今後も定期的な面談、子育てサポートなどの支援をしていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	0		今後も利用者様に寄り添った支援をしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	10	0	1	3		保護者会を開催し好評を得ています。きょうだい向けのイベントは今後、機会があれば検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	0	0	1		みらいカフェを併設し、相談しやすい環境を整えています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	0	連絡帳やSNSなど個々に合った情報伝達をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	0	0	今後もたくさんの情報を発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0	今後も個人情報の保護を徹底していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	0	0	0	マニュアルは、いつでも見られるところに置いています。 SNS等を通じて、研修や訓練の様子を発信していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	1	様々な災害に対して訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	1	今後も契約時に丁寧な説明を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	0	今後も速やかな連絡体制を取り、契約時に丁寧な説明をしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0	今後も安心安全な環境づくりに努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	0	0	0	とてもたのしくありがたいです。 学校で疲れていても利用日の日は急いで帰ってくる。 今後も通所を楽しみにしていただけるプログラムを用意していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0	今後も満足していただけるように努めています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ABA発達支援教室 みらいkids&Sports		2026年 2月 10日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2	・少し狭さを感じる時もあるが、そのときに使用していない物を片付けることで対応できている。	児童が定員5名全員来た際は若干手狭に感じる。集団活動の日は少し狭く動きにくいと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	0	・子どもの人数に応じて職員の配置は適切。	スタッフの方が少ない時もあるが、対応できている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・目で見えて分かるようにホワイトボードを使うなど工夫をしている。 ・子どもに分かりやすく構造化された環境で配慮できている。	今後も継続していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・毎日掃除をして運動しやすい空間も作れている。 ・子ども達が毎日活動しやすいように環境を整えた空間を工夫している。	清潔で心地よく過ごせる環境になっているが、もう少し広い空間が望ましい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	・個別の部屋は無いが、スペースをつくる事はできる。 ・子どもが個別の部屋や場所を使用できる環境になっている。	個別の部屋、場所を使用することは難しい状況である。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	・事業所のスタッフで、設定と振り返りができるようにしている。 ・PDCAサイクルを職員が把握し参画できていると思う。	今後も職員間での話し合いの場をたくさん設ける。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・評価表を配り、何か書かれていたら改善に繋がっている。 ・保護者向けアンケート等で意向等を書き出し、ミーティングを行い業務改善に繋げている。 ・保護者の意向を把握する機会があり内容を業務改善に繋げている。	アンケートを基に業務改善をしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・MTなどで、意見を出し合い改善できるところは改善していくようにしている。 ・職員にも評価表を配り、そのことについてミーティングを行い業務改善に繋げている。 ・職員の意見を把握しその内容を業務改善に繋げている。	ミーティング以外にも意見を出しやすい環境を作る。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	・第三者の評価を行っているかは分からない。	定期的にABAのコンサルティングを受け、業務改善に繋げていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・毎月研修を行っている。個人でも受けられるものは、受けている。 ・研修は月1回担当の先生が開催している。各自研修も受講する機会がある。 ・業務時間内に研修を受講する機会が確保されている。 ・研修を受講できる機会があり確保できている。	外部からも講師を招いて、研修を行っている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・子ども1人1人に合ったプログラムが作られている。 ・事業所ごとに、毎月のプログラムを作成し公表している。 ・支援プログラムが作成され公表できている。	今後も支援プログラムの作成、公表を継続していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・子ども1人1人に合った計画を作成している。 ・面談内容を基にこどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析できている。 ・1人1人の子どもに合わせた内容で計画を作成している。	さらにニーズに合った計画を立てられるようにアセスメントを充実させていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・作成するとき、関わっているスタッフ全ての意見も出しながら作られている。 ・支援員同士が話し合うミーティングが設けられており、検討が行われている。 ・管理者だけでなく支援に関わる職員と共通理解の下で行っている。	検討の場を多く設ける。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・計画は、全てのスタッフに共有され支援している。 ・計画が職員で共有され計画に沿った支援が行われている。	今後も継続して共有していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・記録などを通して日々の姿を確認している。 ・子どもの適応行動の状況をアセスメントを使用する等により確認している。	記録やツールはいつでも見られるようにしておく。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・子どもの支援に必要なことが適切に設定されている。 ・子どもの支援に必要なことが適切に設定されていて具体的に細かく支援内容になっている。	今後もより具体的な内容を設定できるようにする。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・チームでプログラムの内容を考えている。 ・チームで話し合いをし活動プログラムを作るよう工夫をしている。	引き続き、話し合いの場を多く設ける。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・ねらいを達成するため、固定されるときもあるが、工夫は沢山している。 ・毎回同じ内容にならないよう考え工夫をしている。	スタッフそれぞれが意見を出し、固定化されない工夫をする。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・個別、集団、どちらも目標に向かって計画を作成して支援している。 ・一人一人の状況に合わせて個別と集団を組み合わせた支援をしている。	今後もこどもの状況に応じた支援をしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・子どもが来る前に、その日の活動など話し合っ支援している。	前回問題のあった時には、問題解決に向けた連携も行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・子どもがいないときは、打ち合わせを必ず取っている。	今後も職員間での共有事項を支援に生かしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・毎日記録を取り、改善に繋げている。	モニタリング時にも記録を活用している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・モニタリングをして、子どもに合う支援をしている。	今後も定期的にモニタリングを行う。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	2	・基本活動を理解して、複数組み合わせている。 ・4つの基本活動の地域交流の機会の提供は出来ていない気がする。	3、地域交流の機会の提供の組み合わせを、検討が必要である。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・選択肢を与えて、選べる時も作っている。	自己決定できる環境設定を行っている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	・子どもの事を分かっている児発管が参加している。 ・会議に子どもの状況をよく理解した者が参画することの徹底は見直しが必要と思われる。	会議に子供状況をよく理解したものが参画することの徹底は、見直しが必要と思われる。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・ケガした時に診てもらう病院などは決められ連携している。	症状ごとに病院のリストアップも行った。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	・送迎の注意点など共有している。 ・きめ細やかに連絡調整を行うことはできている。	引き続き、適切な連絡調整を行っていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	・就学前の園などの共有はしていない。 ・情報共有と相互理解に努めるまでは至っていない。	情報共有と相互理解に努めるまでは至っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	・保護者に対しては、支援計画等伝えている。	今後必要があれば実施する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	・モニタリングなどでやりとりをしている。 ・児童発達支援センターとの連携を図り研修を受ける機会が設けられている。（積極的に）	外部研修は今後も継続していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	・他の子どもとの交流は無い。 ・地域の他のこどもと活動する機会は難しい。	必要があれば、地域の他の子どもと活動する行事等検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	・児発管が参加していることもある。 ・積極的に参加は難しい状況がある。	積極的に参加は難しい状況がある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・子どもの様子を保護者と共有をし、次の繋がりができるよう工夫している。 ・毎日、その日の様子など伝え合い、共通理解を持っている。 ・お迎え時や連絡帳等を通して保護者ときめ細やかに共通理解を行っている。	きめ細やかな情報共有を行っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	・保護者が参加できる研修、ペアトレなどがありとても良いと思う。 ・ペアレントトレーニングなど定期的に行っている。 ・子どもの保育も配慮し、意欲的にペアレントトレーニング等の保護者の研修の機会を行っている。	今後も継続していく。

保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約する時に丁寧に保護者へ説明をしていると思う。 ・契約の時読み合わせなどで説明している。 ・保護者に出来る限り寄り添って丁寧な説明を全体で心がけている。	引き続き、丁寧な説明をしていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・最善の利益を踏まえた上で子どもや保護者の意向を確認する機会がある。 ・家族の意向を面談などで聞いている。 ・保護者とのコミュニケーションや子どもの日々の様子を共有しながら、意向を確認する機会を設けている。	今後もこどもや家族の意向を確認する機会を定期的に設ける。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・支援内容を丁寧に説明をし、同意を得ていると思う。 ・保護者への直接説明を行い、同意を得ている。 ・児発管が支援内容の説明を行い、サイン（同意の）をもらっている。 ・同意を得たら、必ず保護者からサインを頂いている。	引き続き丁寧な説明をし、同意を得る。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・保護者から子どもへの悩み相談があるときすぐに対応し支援をしている ・面談やアドバイスなど適切に行っている。 ・ラインや送り迎え時に悩み等の相談を受け、面談等、支援している。 ・必要であれば、臨時面談を行い子どもファーストの支援を行っている。	こどもや保護者がいつでも相談できる体制を整えている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	・保護者会を設け保護者同士が交流できる機会をつくるよう工夫ができていると思う。 ・保護者会を定期的に行っている。 ・保護者会を事業所ごとに開催し、保護者同士で交流する機会を支援している。 ・月に1回保護者会を開催し保護者同士横のつながりがもてるように行っている。	月一度の保護者会を開き、好評を得ている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・苦情があった場合は、すぐに共有をし適切に対応していると思う。 ・対応の体制は整備されていて、対応も迅速にしている。 ・全体ミーティングで職員全体に周知する等適切に対応している。	今後も苦情があれば、速やかかつ適切に対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・インスタを使用し保護者へ活動内容を発信している。 ・かわら版やHP、SNSで日頃の様子など発信している。 ・Instagram等で行事内容などを発信している。 ・定期的にSNS等を活用して保護者に対して発信している。	今後もSNS等で、日々の活動や行事を発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報には十分に配慮し留意している。 ・鍵が付いている棚に保管するなど留意している。 ・個人情報の取扱いに十分注意し、プライバシーが守られている。	引き続き、個人情報の取扱いに十分留意する。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・障害のあるこどもと保護者との意思疎通をし配慮していると思う。 ・子どもや保護者とのコミュニケーションで一人一人に適切な伝達をしている。 ・連絡帳には、マイナスな事は書かず、伝達する時もできたことを伝えている。	今後も個別の配慮をしていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・地域との関わりはない。 ・事業所の行事に地域住民を招待する事は難しい。	必要があれば、なつまつり等に地域住民を招待する企画を検討する。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・発生を想定した実施訓練を積み上げる体制が整っている。 ・マニュアルを確認し研修と訓練を行い備えている。 ・全てのマニュアルを職員や家族に伝えている。	マニュアルはいつでも閲覧できるようにしている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・避難場所の確認やAEDの使い方などの研修を行い訓練をしている。 ・BCPを策定して、定期的に訓練をしている。 ・避難訓練や必要な訓練をミーティングの時間を利用して行うことができる。	今後も継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・事前にこどもの状況を確認し対策をしている。 ・保護者に確認し、対応なども確認している。	子どもたちの持病の有無や対処方法など、事前に保護者に確認することを徹底する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	・食物アレルギーには十分に配慮をし対応をしている。 ・アレルギーがある子どもにその物を食べさせないようになっている。 ・医師の指示書は無いが、食物アレルギーのある子どものことを把握し対応している。	アレルギーの有無の確認を職員間で共有する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・安全管理が十分されて安心して支援を行えている。 ・子どもの安全のため研修など通して管理している。 ・子どもの安全管理が十分された環境の中で支援が行われている。	今後も継続していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・子どもの安全のためどのような事を行っているかなど伝えている。 ・子どもの安全確保に関して保護者へ周知で来ている。	今後も継続していく。

	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none">・ヒヤリハットが起きたらすぐに共有し、対策している。・ヒヤリハットを全体で共有し、再発防止を徹底していると思う。・全職員が周知できるように回覧している。	ヒヤリハット報告が上がったら、その都度職員間で情報共有をし、再発防止を徹底する。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none">・虐待防止のため研修などを通して対応している。・研修があり対応できていると思う。・虐待防止の研修を受講する体制ができている。	外部研修を含め、学んだことを日々の業務に生かしていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none">・十分に説明をするが、なるべくしないようにしている。・事前に説明をし同意をもらったうえで記載できていると思う。	今後も継続していく。